

愛知県バンコク産業情報センターの活動とタイローカル企業とのネットワーク形成について 一般調査報告書

愛知県バンコク産業情報センターでは、主に愛知県企業（愛知県内に本社又は拠点を有する企業）の東南アジア及び南アジアへの海外展開を支援しています。毎月発行している本レポートでは、そうした愛知県企業の皆様への情報提供手段の一つとして、主にタイの経済産業を取り巻く様々な情報を発信しています。今回のレポートでは、当センターの活動内容及び昨年度の活動報告と、最近ご相談が多いタイローカル企業とのネットワーク形成についてまとめたいと思います。

1 愛知県バンコク産業情報センターについて

(1) 愛知県バンコク産業情報センターの概要

愛知県バンコク産業情報センターは、2014年4月2日に日本貿易振興機構（ジェトロ）バンコク事務所内の共同事務所として設立されました。現在、本レポートを執筆している日本人駐在員1名とタイ人スタッフの1名で、主に①愛知県（中小）企業の海外展開支援、②外国企業の対内投資促進、③外国人観光客の誘客、に取り組んでいます。具体的な①～③の活動については次項で述べたいと思いますが、ざっくり申し上げますと、①②の活動の対象者（①：タイを中心とした東南・南アジアへ進出している又は進出を考えている愛知県企業、②：愛知県への投資や進出を考えているタイを中心とした外国企業）からのご相談を受け付けたり、ビジネスのサポートとなる取組を行うとともに、③の対象者（愛知県への旅行を考えているタイを中心とした外国人個人や愛知県への旅行商品を企画販売するタイを中心とした旅行会社など）に対しては、愛知県の観光地、観光施策のPR活動を行うことが主な活動となります。

もちろん日本の愛知県本庁でもこれらに対する取組は実施しておりますが、当センターでは現地に駐在員がいる強みを生かして、在タイ愛知県企業や現地のローカル企業とのネットワークの形成や、そのネットワークを生かした活動、現地に住んでいるからこそ知りえた知識や情報を生かした、柔軟かつ小回りの利く活動を得意としています。

次項からは活動の具体的内容をご紹介しますが、その前に当センターが2024年6月までに受けたご相談や企業を訪問させて頂いた件数を整理いたしました（図1）。2023年は、年間で愛知県企業から130件の、タイを含む外国企業から73件のご相談を受けました。2024年度は愛知県企業から65件の、タイを含む外国企業から14件のご相談を受けています（2024年6月末時点）。ご相談内容は多岐に亘りますが、タイ企業からのご相談のほうがバラエティに富んだものが多い印象です。一方、愛知県企業からのご相談で、特に昨年度後半から今年度に掛けて増えているのが、タイローカル企業とのネットワーク形成に関するものです。こちらについては次章で少し詳しく見ていきたいと思います。

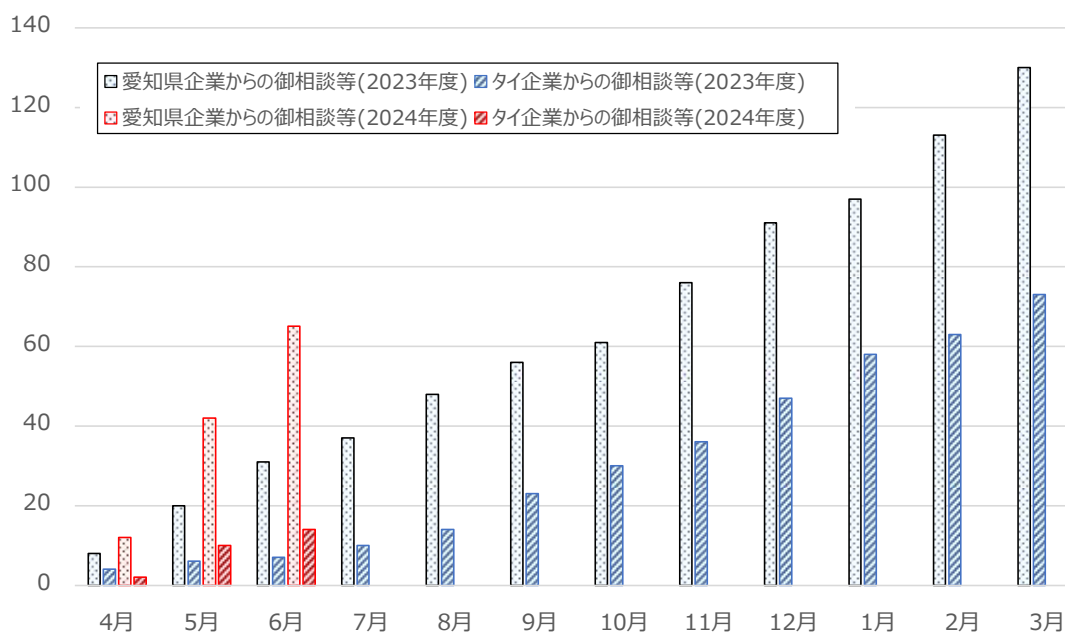


図1 当センターへの企業からのご相談・ご面談件数の推移(積上げ)

大変ありがたいことに、2023年3月に当センターに赴任して以来、ほぼ毎日企業様からご相談のアポイントを頂戴しております。この中には、展示会などでブースを訪問した際にご相談いただいた簡易なものも含まれており必ずしも腰を据えた本格的なご相談ばかりではありませんが、まさに当センターの核となる活動であり、今後もこちらの相談受付は積極的に取り組んでいきたいと考えています。今年度は昨年度と比較して序盤からご相談が多くなっておりませんが、新規のご相談に加え、同じ企業様からリピートでご相談いただくことも多い状況となっています。

(2) 2023年度の取組について

私は2023年3月にタイ・バンコクに赴任したため、2023年度はまずは駐在員としてどのようなことができるのかという初歩的な部分から事業を進めました。その中で、多くの企業様やタイ政府関係者等からのお話を伺い、当センターとしてできることを一つずつ検討、実施して参りましたので、その主要なものをご紹介します(これまでレポートで紹介した事業も一部重複しますが、ご容赦ください)。

①愛知県(中小)企業の海外展開支援

・海外展示会出展支援(2023年8月24-26日、9月22-25日)

愛知県アジア展開支援実行委員会(愛知県、ジェトロ名古屋貿易情報センター、あいち産業振興機構で構成)が行う、愛知県内中小企業が海外で開催される展示会へ出展する際の支援事業に対して、現地での出展サポートを実施しました。

・泰日工業大学特別授業の実施(2023年8月16日、9月13日)

バンコクにて、日本的ものづくり思想のもと、専門能力、語学(英語・日本語)、コミュニケーション力、管理基礎力、ビジネス実務の基となる社会人基礎力に焦点を当てて学生を育成する泰日工業大学(TNI)と、愛知県の工作機械メーカーであるMazak(Thailand)、OKUMA TECHNO(THAILAND)との連携事業として、TNIの学生に両社からのレクチャー及びショールーム見学を行う特別授業を実施しました(図2)。



図2 特別授業の様子(左:Mazak (Thailand) 右: OKUMA TECHNO (THAILAND)) (筆者撮影)

・ Krungsri-MUFG バンコック商談会への出展 (2023年11月30日)

株式会社三菱UFJ銀行、アユタヤ銀行、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)が主催する商談会へ、政府機関・自治体ブースとして出展しました。本商談会には、日系企業、タイ企業のみならず、ベトナム企業などのASEAN諸国の企業も数多く参加しており、非常に活発な商談が行われておりました。当センターといたしましては、主に日系企業様へ活動内容の紹介や相談対応を行うとともに、タイ企業を始めとする外国企業に対して、愛知県の投資環境のご案内を実施しました(図3)。



図3 商談会での当センターブース出展の様子(筆者撮影)

・ 愛知県海外販路開拓セミナーへの登壇 (2023年12月18日)

12月18日には、ASEAN地域への販路拡大を検討されている県内中小企業を対象としたセミナー「ASEAN 販路開拓セミナー」(主催:愛知県、あいち産業振興機構)にオンラインで登壇しました。当日は、あいち産業振興機構の国際アドバイザー金子氏から「ゼロから学ぶASEAN 販路開拓」について講演をした後、私から「実例に学ぶ 販路開拓成功事例」としてお話をさせて頂きました。ジェトロバンコックで経験した事業の内容も踏まえ、実際にタイに進出し販路開拓をされた企業の話を食品、ITなど幅広い分野からご紹介いたしました(図4)。



図4 セミナーの様子(主催者撮影)

②外国企業の対内投資促進

・有望タイ企業の発掘事業(2023年通年)

愛知県の経済労働政策の中期計画である「あいち経済労働ビジョン 2021-2025」で振興する次世代産業分野のタイ企業を中心に、愛知県の企業とのシナジーが見込まれ、かつ愛知県へ進出意欲のあるタイ企業を発掘、それらのニーズを聞き取り、興味のある愛知県企業とのビジネスマッチングを実施するという事業を通年で実施しました。なお、発掘したタイ企業のうち特に引き合いの多かった2社については、私も同行して愛知県へ招へいし、複数の愛知県企業とオンサイトでの商談を実施しました(図5,6)。なお、本活動により実施したビジネスマッチングの件数は16件となりました。参加したタイ企業、愛知県企業の双方からはポジティブなフィードバックを受けており、今年度もこちらの活動は実施する予定としています。

Global Biopolymers Co., Ltd.		SYNTECH	
会社概要	製品・サービスの概要	会社概要	製品・サービスの概要
設立年 2016年 代表者 Mr. Nopadol Suanprasert 資本金 25,000,000 THB 従業員数 約100名 所在地 Bangkok URL http://www.globalbiopolymers.com/index.php 事業内容 ・オトウキビ等の産業資源から生成されるバイオプラスチック原料を配合するコンパウンド ・バイオプラスチックと熱可塑性素材を配合し、食品トレイや生分解性農業用資材等を製造 特徴・強み ・最終製品の仕度を満たす最適な配合を行う高い技術力 ・バイオプラスチック市場において長い経験を持っており、様々なニーズに対応可能	・熱成形、射出成形、押出成形等に使用可能なバイオプラスチックペレット ・食品トレイ、工業用パック、農業用資材、生分解性ルートラレーサー、生分解性PVD (Prefabricated Vertical Drain)、生分解性マルチフィルム (Mulch film) など ビジネスマッチングニーズ ・当社の事業を愛知県又は日本で拡大するためのビジネスパートナー、特にマーケティングでサポート頂ける企業、代理店 ・当社と共同して新製品開発を行う企業(例) ペットボトルキャップをバイオプラスチックで製造する ・バイオプラスチックの生分解性に関して高度な技術を有する企業又は研究開発を行っている企業 ・国際マーケティングを行うための海外事務所を持っている企業	設立年 2008年 代表者 Ms. Rassamee Suebchompo 資本金 20,000,000 THB 従業員数 50名 所在地 Pathum Thani県 URL https://www.syntechnology.com/ 事業内容 ・PCB、自動車、ヘルステック、IoT製品のR&D・試作・製造・量産のワンストップサービス ・スマートシティ、スマートビルディング等に關する総合ソリューション ・グループ会社SYNTECHでは、スタートアップに対するインキュベーション事業を運営 特徴・強み ・産業施設や工場を中心に、顧客の既存デバイスを活用したスマートソリューションを提供可能。	・PCB、自動車、二輪車ランプのほか、海外経路確保などのヘルステック製品のODM、ホームケア関連のIoTデバイスのODM ・天候センサー搭載スマートホーム、エネルギー管理用スマートメーター、自動車ナンバープレート認証システム、農業用スマートシステム ビジネスマッチングニーズ ・次世代自動車に関する共同研究を行える企業 ・当社が扱う自動車製品の日本での販路に協力頂ける企業 ・当社のスマート製品の日本の企画・開発への導入に協力頂ける企業

図5 愛知県へ招へいたタイ企業のニーズシート(左:Global Biopolymers 右:Synergy Technology)



図6 愛知県への招へいの様子(左:トヨタ産業技術記念館見学の様子 右:BioCMOS 社訪問の様子)

・和歌山県との合同オンライン商談会 (2024 年 2-3 月)

タイ工業省産業振興局ジャパンデスクに駐在員を置く和歌山県と連携し、愛知県及び和歌山県企業と、タイ工業省と関係をもつタイ企業、タイ裾野産業振興協会及びタイ工業連盟の会員タイ企業とのオンライン商談会を開催しました。こちらは前述の有望タイ企業の発掘事業とは逆に、先に日本企業側のニーズや課題をヒアリングした後、そのニーズや課題の解決に手を挙げたタイ企業とのマッチングを行うといった活動となります。なお、本活動により実施したビジネスマッチングの件数は合計 9 件となっています。

③外国人観光客の誘客

・FIT フェア@バンコクへの共同出展 (2023 年 11 月 6-8 日)

上記の①②の活動が当センターの主な事業となりますが、一部、愛知県への外国人観光客の誘客活動も実施しています。11 月 6-8 日にかけて、バンコクで開催された FIT フェア(主催:日本政府観光局(JNTO)バンコク)に、自治体国際化協会(CLAIR)シンガポールの駐在員とともに出展しました。ブースでは、愛知県の観光地やバンコク・名古屋間のフライト案内を始め様々なご質問にお答えするとともに、他ブースを回って愛知県の観光について PR を行いました(図 7)。



図 7 FIT での活動の様子(左:来場者で賑わう会場の様子 右:出展ブースの様子)

(3) 2024 年度の取組について

昨年度は様々な活動を実施してきたものの、私自身が駐在 1 年目ということもあり、主体的に事業を企画して新しいことを行うといったことをあまりせず、これまで弊センターが培ってきたことを一つずつ確認しながら実施してきた形となります。一方、今年度については、昨年度様々なご相談を受ける中で、弊センターとして期待されていることを分析し、昨年度の事業で足りなかった部分を補うような事業を実施しようと考えています。

まだ企画段階であるためここに記載できないものもありますが、そのうちのいくつかについてご紹介いたします。

①Startup Networking and Showcase (2024 年 6 月 18 日)

6 月 18 日に開催したこちらの事業は、1(1)で述べたように、近年タイローカル企業とのネットワーク形成に関するご相談が多かったことに対して、また、愛知県としても近年力を入れているスタートアップへの支援も兼ねて企画・開催した事業となります(ジェトロバンコクとの共催)。こちらについては次章で詳しくご紹介いたします。

②食品の販路開拓事業 in タイ (2025年2月13-16日)

こちらは本レポート執筆時点でまさに参加企業の募集をしているところになりますが、2025年2月にサーム高島屋で開催予定の食品関連企業の販路開拓を支援する事業となります。

これまで当センターではご相談の大部分が製造業関連だったのですが、近頃食品関係のご相談も増えてきております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着きを取り戻した中、世界有数の日本食市場として注目されるタイに、再び意識が集まってきているということかもしれません。こうした事情を背景に、当センターでは愛知県単独ではなく、既にタイでの食品販路開拓に豊富な実績をもつ神奈川県及び石川県と連携し、3県同時開催の食品フェアの開催を予定しておりますので、これを機に是非タイ食品市場への進出をご検討頂きますと幸いです(プレスリリース:<https://www.pref.aichi.jp/press-release/bangkok20240626-1.html>)。

この他にも、昨年度実施して好評だった事業や、今年度ご相談を受ける中で特に要望が多かったものに対する事業などを実施していく予定もあるため、また随時愛知県庁のウェブページなどで情報提供させていただきます。

2 タイローカル企業とのネットワーク形成について

(1) 近年ご相談が増加しているタイローカル企業とのネットワーク形成希望

1(1)で述べたように、昨年度後半から現在にかけて、タイローカル企業とのネットワーク形成に関するご相談が数多く寄せられています。内容は多岐に亘り、タイローカル企業からの新規調達や逆に自社製品をタイローカル企業へ売りたいというご要望、更には特定の技術をもつタイ企業との異分野での共同開発・共同研究のご要望などが挙げられます。こうしたご相談は私がこちらに赴任してからちらほらありましたが、最近は特に多く聞かれるようになりました。

こうしたご相談が増えてきた背景には、日系企業同士の取引のみでは事業が回らなくなってきたという危機感があるのかもしれません。タイには1960年代から日系企業が進出し、今日では約5,800社(2021年3月時点)に及ぶ日系企業が進出している状況となっているため、在タイ日系企業を対象としたビジネスのみを行っている日系企業ももちろん存在しています。自動車産業を中心にタイにおける日系企業のプレゼンスが非常に高い状況で、更に言語の壁もなく商習慣も馴染みがある日系企業との取引を第一に考えるのは当然のことで、これまではそうしたポートフォリオでビジネスを進めることができたと考えられます。

ところが、近年の中国系完成車メーカーの相次ぐタイ市場への参入による日系自動車メーカーのシェア減少などにより、タイ市場という限られたパイの中での日系企業の仕事が減少している状況となっていると推察され、そのため、これまで手を付けていなかった又はあまりウェイトとしては重くなかったタイローカル企業とのビジネス展開に少しずつ舵を切ろうとしている日系企業が増えてきているように感じます。

とはいえ、これまでつながりをもっていなかったタイローカル企業に急に営業しようと考えても、まずはどこから手を付けるべきか(商談会や展示会に参加すればいいのか)、そもそも自社事業とシナジーを得ることができるタイローカル企業の情報をどのように入手してビジネスにつなげていけばよいかかわからないという状況が生じ、タイローカル企業とのネットワーク形成に関するご相談が増えてきているのではないのでしょうか。

(2) Startup Networking and Showcase について

こうしたご相談が増加してきたことを受け、また、愛知県では今年 10 月 31 日に国内最大のスタートアップ支援拠点である「STATION Ai」を開業予定であるというタイミングであったことから、今年度早期に日系企業のタイローカル企業とのネットワーク形成及びスタートアップの支援に資する事業を実施することを目指し、ジェトロバンコク中小企業振興部及び製造産業部との連携により、6 月 18 日に「Startup Networking and Showcase」を開催いたしました。

①実施内容

本イベントはネットワーク形成のためのカジュアルなネットワーキングと、日タイスタートアップによる 1 社 2 分のピッチセッションで実施しました。

ネットワーク形成という観点で最もメジャーなものは合同商談会のようなイベントですが、今回はもう少しカジュアルなネットワーク形成を促進するようなイベントとすることに努めました。と言いますのも、ここタイ・バンコクではあらゆる主体が商談会を実施しており、商談会は何か特別な特徴がないと他と差別化できない状況にあるためです。当センターとしては前述のとおり既に商談会・マッチング事業を二つ実施しているため、商談会ではない、その手前のもう少し緩やかな交流に焦点を当てることとしました。

また、単にカジュアルな交流を行うのみではなく、愛知県のスタートアップも含む日タイのスタートアップのピッチセッションを入れることで、ネットワーキングの話題づくりとすることはもとより、技術力のあるスタートアップとの連携を望む日タイの大企業も参加者としてご参加頂くことを期待しました。

これにより、タイローカル企業と繋がりたい日系企業、日系スタートアップとの連携・出資を目指すタイ企業、企業からの出資を望む日系スタートアップの 3 者にメリットがあるイベントとすることを目指しました。

②開催結果

開催結果は以下のとおりです。

開催日時	2024 年 6 月 18 日(火) 18:00-21:00
開催場所	fabbit Global Gateway “Bangkok” (18 Ratchadaphisek Rd, Khlong Toei, Bangkok)
参加申込者数	76 社・団体、103 名 ※主催者である当センター及びジェトロバンコク含む。
当日参加者数	58 社・団体、87 人 ※主催者である当センター及びジェトロバンコク含む。
ピッチ登壇企業	28 社※日系 13 社(うち愛知県に本社があるスタートアップ 5 社)、タイ系 15 社

表 1 Startup Networking and Showcase 開催結果



図 8 本イベントのちらし



図9 イベントの様子(左:fabbit Global Gateway “Bangkok”概観 右;会場の様子)(筆者撮影)

なお、今回のピッチセッションには、愛知県に本社を置く下表に示したスタートアップ5社(株式会社 Acompany、アイクリスタル株式会社、Olive 株式会社、SyncMOF 株式会社、株式会社 TOWING)にもご登壇いただきました。この他にも在タイの愛知県企業の皆様にも数多く御参加いただき、「こうした日タイ企業が集まるカジュアルなネットワーキングイベントはありがたい。また実施してほしい。」といったポジティブなお声も頂戴することができました。愛知県バンコク産業情報センターでは、ジェトロバンコクのネットワーク等も活用し、こうしたタイローカル企業と日系企業とのネットワーク形成に資する事業を引き続き実施して参りますので、もしこうしたイベント等にご興味があればお気軽にメール等でお問合せください。

企業名	紹介文
株式会社 Acompany	企業のパーソナルデータ活用を支援するプライバシーDXカンパニー。暗号技術と個人情報保護法に強みを持ち、企業間の安全なデータ連携を実現するデータクリーンルームを提供。
アイクリスタル株式会社	モノづくりにおける開発や量産プロセスに対し、AIを活用したプロセスインフォマティクスで「すべてのモノづくりにプロセス革命を」をミッションとして事業拡大する名古屋大学発スタートアップ。
Olive 株式会社	内閣府が提唱する「Society 5.0」や「Marketing 4.0」で語られる「Personalized Service」の実現のために必要とされる根底のデータとして「感情」の可視化に取り組む。
SyncMOF 株式会社	MOF(金属有機構造体)を使った気体分離のソリューションを提供。材料提案からデバイスや装置に組み込むまで一気通貫でサポート。
株式会社 TOWING	土壌微生物の培養とバイオ炭の技術を核に、世界的に問題視されている土壌の劣化や、農地へのCO ₂ の貯留・隔離に関する事業を展開しており、タイでの事業展開を図る。

表2 ピッチにご登壇頂いた愛知県に本社を置くスタートアップ5社



図 10 登壇する各社の様子(左上:株式会社 Acompany 左下:アイクリスタル株式会社 中上:Olive 株式会社 右下:SyncMOF 株式会社 右上:株式会社 TOWING)(筆者撮影)

3 おわりに

7月1日、名古屋学院大学の経済学部学生を対象とした講義「外国経済論 1」にて、外部講師としてお話しさせて頂く機会を頂戴いたしました。主としてアジア経済についての講義で、日系企業のアジア・東南アジアへの拠点設置や製造業からサービス業への広がりなどについて学生に伝えることも目標の一つとしていただいております。その中で、日系企業の海外での企業活動や、愛知県庁がタイに駐在員を置いている理由、今後の日系企業のビジネスにおいて海外展開は不可欠であることなどを、当センターの活動を交えてお話しさせて頂きました。

講義後、学生の皆さんからは、「県庁の企業支援全体をはじめて知りました。県内企業にとって国内だけでは不十分であることを実感しました。」、「愛知県企業がアジアへこれほど多く進出していることに驚き、同時に県庁がこのような支援をしていることに魅力を感じました。」といったありがたい感想を頂くこともできました。

未来の日本を担う若い学生の皆さんにこうした海外での企業活動や当センターの活動などをご紹介することで、少しでも海外とのビジネスについて興味をもって頂くことが将来的に愛知県企業のサポートに繋がると考えています。機会さえ頂戴できれば、今後もこうした活動は継続的に実施してまいります。



図 11 講義の様子(名古屋学院大学様撮影)

【参考文献】

ジェトロ短信 <https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/04/20d5c3d9315e11b9.html> (参照 2024-07-08)

ジェトロ 2023 年度海外進出日系企業実態調査 | アジア・オセアニア編 https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/a261e38b2e86c8d5/20230023rev2.pdf (参照 2024-07-08)

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。